



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第7号

令和6年11月25日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(HP)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

しぶ柿の しぶみを抜いて あま柿に (全校集会 校長講話から)

校長 冨永 浩文

あちらこちらの畑や家の庭に、柿の木がたくさんの実をつけています。黄色い柿が秋の陽の光に照らされて美しく、おいしそうに輝いています。でもこの柿には、あま柿としぶ柿があります。しぶ柿はそのまま食べると、タンニンというしぶみのもとが口の中で溶けて、顔がくしゃくしゃになるほどしぶく感じます。

そのままではとても食べられないしぶ柿。でもあることをすると、あまい柿になるのです。しぶ抜きと言います。一つは、焼酎というお酒、アルコールをつける方法です。しばらく置くと甘くなるのです。アルコールの成分が、しぶみのもとに反応して、しぶみを感じさせなくするのだそうです。もう一つは、干し柿にする方法です。日の光に当てて干すと、やはり、しぶみのもとが感じられなくなり、あまみが強く感じられるようになるのだそうです。不思議ですね。魔法の力です。

私は、自分たちをこの柿に例えると、みんな心の中にしぶみをもっているのではないかと思います。私たちのしぶみのもとは何でしょう。例えば、人のことを恨んだり、嫉妬したり、憎んだり、怒りの気持ちをもったり、意地悪な気持ちをもったりするなど、心の中で人のことを悪く思う気持ちがしぶみなのです。子どもでも、大人でも心のどこかに持っているのです。

でも、私たちは、しぶみのもとをそのままにしてはいけませんよね。それを言葉や行動、態度に出しては、しぶ柿になってしまいます。いじめなどがその例ですね。人を悲しませてしまい、嫌がられ、怖がられ、さけられますよね。そうならないように、私たちは、しぶ抜きして、しぶみのもとを消し、あま柿にならなければなりません。焼酎のような魔法を自分にかけるのです。または、干し柿のようにお日様に当たるのです。では、どうすればいいのでしょうか。

悪い心を追い払うために、イライラ、カッカしたときは、深呼吸をして空気をいっぱい吸い込んで心を落ち着かせることです。或いは、楽しいことを考えること、友達のいいところを探すことです。自分の良いところを考えて、自分に自信をもつことも良い方法です。さらに、優しい言葉をかけ合うことです。ふわふわ言葉ですね。人から優しい言葉をかけてもらおうと、優しい気持ちになりますよね。それでも、心の中がもやもやするとき、誰かに話を聞いてもらいましょう。ホッとしたり、すっきりしたりしますよ。

私たちはみんな柿のようにしぶみをもっています。でも、きつとしぶ抜きはできるはず。心を落ち着けて考えたり、友達の良いところを教えてあげたり、楽しいこと、自分の良いところを考えたり、ふわふわ言葉をかけ合ったりして、一人ひとりが輝く、あま柿になりましょう。そして残りあと1ヶ月の2学期、違いを認め合い、つながり、一緒に活動していきましょう。



しぶ抜き いじめ見逃しゼロスクール